

慶應義塾體育會蹴球部創部125周年記念式典・感謝の集い

プログラム

第一部「記念式典」

13:30~15:25(受付13:00~) 会場:藤原洋記念ホール

13:00	受付開始・開場	司会:勝呂 恭佑 氏(2009年卒)
13:30	塾歌齊唱	
13:35	開会挨拶	慶應義塾體育會蹴球部黒黃会 川上 純一 会長
13:40	式 辞	慶應義塾 伊藤 公平 塾長
13:45	祝 辞(ビデオメッセージ)	日本ラグビーフットボール協会 土田 雅人 会長
13:50	来賓挨拶	早稲田ラグビー倶楽部 寺林 努 会長
13:55	舞台転換	
14:00	シンポジウムオープニング映像	制作:慶應義塾體育會蹴球部・黒黃会 総監修:福澤 克雄 氏 TBSテレビ制作局ドラマ制作部・演出家・映画監督
14:10	シンポジウム 「これからの大學生ラグビーの活性化へ向けて ～各校が果たすべき大学ラグビーへの貢献とは～」	【進行】 生島 淳 氏(スポーツライター) 【登壇者】 岩出 雅之 氏(帝京大学スポーツ局局長) 相良 南海夫 氏(早稲田大学ラグビー蹴球部アドバイザー) 田中 澄憲 氏(東京サントリーサンゴリアスGM) 廣瀬 俊朗 氏(ラグビー日本代表チームディレクター補佐)
14:55	休憩	ワグネルメイキング映像他
15:10	記念演奏:威風堂々	指揮:藤岡 幸夫 氏 関西フィルハーモニー管弦楽団首席指揮者 東京シティフィルハーモニック管弦楽団首席客演指揮者 演奏:慶應義塾ワグネル・ソサイエティ・オーケストラ
15:16	監督挨拶	慶應義塾體育會蹴球部 青貫 浩之 監督
15:20	記念演奏:白凱々 (慶應義塾體育會蹴球部部歌)	指揮:藤岡 幸夫 氏 演奏:慶應義塾ワグネル・ソサイエティ・オーケストラ
15:25	式典終了	



慶應義塾體育會蹴球部創部125周年記念式典・感謝の集い

プログラム

第二部「感謝の集い」

15:45～17:15(受付15:00～) 会場：慶應義塾大学日吉キャンパス大学食堂棟

15:00	受付開始・開場(1階)	司会：佐々木 拓哉 氏(2024年卒)
15:45	開会挨拶(1階)	慶應義塾體育會蹴球部 牛場 潤一 部長
15:50	来賓挨拶(1階)	明治大学ラグビー部OB・OG俱楽部 西妻 多喜男 会長
15:55	乾杯(1階)	関東ラグビーフットボール協会 海老原 洋一 会長
16:00	歓談 応援指導部・チアパフォーマンス(2階) 応援指導部・チアパフォーマンス(1階)	若き血／蹴球部・大学ラグビー特別応援メドレー／エール 若き血／蹴球部・大学ラグビー特別応援メドレー／エール
17:05	主将挨拶・部歌齊唱(1階)	慶應義塾體育會蹴球部 中山 大輝 主将
17:10	閉会挨拶	黒黄会 中野 忠行 実行委員長
17:15	お開き・お土産渡し	

主 催 慶應義塾體育會蹴球部・慶應義塾體育會蹴球部黒黄会

協 力 一般社団法人 慶應ラグビー俱楽部



慶應義塾ワグネル・ソサイエティ・オーケストラ プロフィール

慶應義塾ワグネル・ソサイエティ・オーケストラは、1901年に日本初の学生アマチュアオーケストラとして設立されました。当団の名称はドイツの芸術家リヒャルト・ワーグナーに由来しております。リヒャルト・ワーグナーは音楽と諸芸術を融合させた楽劇の創始者であり、伝統に縛られない先進的で自由な発想、新しいものへ挑戦する開拓者精神を有した作曲家でした。当団の名称である「ワグネル」にはこうしたワーグナーの発想、精神の体現を目指す理想が込められております。



2023年度海外演奏旅行 ウィーン公演 楽友協会©上野能孝

当団は年に3回行われる定期演奏会を中心に国内演奏旅行及び欧州演奏旅行を実施しております。昨年度3月には、6年振りにウィーン・ブダペストの2都市での開催いたしました。また、企業、政府官公庁、小中学校などの教育機関や病院などからのご依頼に応じて大小様々な演奏活動を行っております。2008年には天皇皇后両陛下のご臨席のもと、慶應義塾創立150年記念式典にてカレッジソングなどの演奏を、2022年には、世界的ピアニストである反田恭平氏が設立したジャパン・ナショナル・オーケストラとの合同演奏会を実施いたしました。他にも入学式、福澤先生誕生記念会をはじめ、慶應医学賞授賞式典などの慶應義塾の公式行事において毎年演奏を担当させていただいております。

全国の小・中学校の音楽鑑賞教室では、演奏に加え、オーケストラで使われる楽器の紹介・校歌のアレンジ・生徒との合同演奏や指揮者体験などの企画も行い、青少年の音楽への興味関心を引き出すことを目指しております。キャンパス付近の喫茶店などでも定期的に生演奏をお届けし、音楽を通じた地域住民の方々との交流活動へも積極的に参画しております。

当団は、日本有数のプロ奏者から演奏技術を学び、日々の練習を通じて団員の演奏技術の向上を図るだけでなく、それに加えて、多くの方々の心を燈し、人と人とをつなぐ音楽を提供することを目標に日々活動しております。

藤岡幸夫氏プロフィール

関西フィルハーモニー管弦楽団 首席指揮者
東京シティフィルハーモニック管弦楽団 首席客演指揮者(2019～)

日本指揮者界の重鎮であった渡邊暁雄最後の愛弟子。サー・ゲオルグ・ショルティのアシスタントを務める。

英国王立ノーザン音大指揮科卒業。最も才能あるEU加盟国の若手指揮者に贈られるサー・チャールズ・グローヴス記念奨学賞を、日本人にもかかわらず特例で受賞。1994年ロンドン『プロムス』にBBCフィルを指揮してデビュー以降、数多くの海外オーケストラに客演。

首席指揮者として毎年40公演以上を共演し2025年に26年目のシーズンを迎える関西フィルとの一体感溢れる演奏は常に高い評価を得、2025年4月から総監督にも就任することが2024年11月に発表された。また2019年の首席客演指揮者就任直後から展開している東京シティ・フィルとの特徴ある活動は毎回大きな注目を集めている。放送出演も多く、番組立ち上げに参画し指揮・司会として関西フィルと共に出演中のBSテレ東『エンター・ザ・ミュージック』(毎週土曜朝8:30)は2024年10月で11年目に突入、放送500回を越える人気番組。英シャンドスからBBCフィルとのCDを8枚、ALM RECORDSから関西フィルとのシベリウス交響曲全集をリリース。著書に『音楽はお好きですか?』『続・音楽はお好きですか?』(敬文舎)。2002年渡邊暁雄音楽基金音楽賞受賞。



福澤克雄氏プロフィール

株式会社 TBSテレビ ドラマ・映画監督

1964年、東京都生まれ。慶應義塾幼稚舎から大学卒業まで蹴球部に所属。

1989年にTBSテレビ入社。「3年B組金八先生」シリーズや、「砂の器」、「華麗なる一族」などの制作に携わる。2013年に自ら企画した「半沢直樹」が、最高視聴率42.2%と驚異的なヒットを記録。その後も、「下町ロケット」「陸王」「ノーサイド・ゲーム」「ドラゴン桜」などヒット作を制作し続ける。

また2008年、「私は貝になりたい」では初の映画監督も務める。2018年には「祈りの幕が下りる時」、2019年には「七つの会議」と、映画作品の演出も手掛けている。

昨年、初めて原作を担当し、監督も務めた「日曜劇場VIVANT」が大ヒットを記録。』



慶應義塾體育會蹴球部

創部125周年記念事業報告と 今後の計画

1. 募金および記念事業の進捗

記念募金事業 期間: 2022年5月～2025年3月末

記念事業の実施状況

- ① 日吉下田ラグビーグランド整備事業（基礎工事・人工芝張替）
実施時期: 2022年8月（完工）
- ② ウエイトルーム増床・修繕工事
実施時期: 2023年8月（完工）
- ③ グランド撮影塔（櫓）新設工事
実施時期: 2023年8月（完工）

2. 今後の事業計画

事業概要(検討案)	実施時期(計画)
1 現役強化に向けた環境整備※ (トレーニング設備・機材の新設、入替・購入/部車代替購入/食事提供設備の充実)	2024年8月～
2 創部125周年記念映像制作	2024年11月
3 創部125周年記念式典	2024年11月
4 日吉下田ラグビーグランド観戦スタンド改修等の環境整備※	2025年2月
5 グランド内設置寄付者名一覧(銘板)	2025年5月

※費用負担の在り方等について慶應義塾と協議・調整のうえ進める



ポストカード



125周年記念式典・感謝の集いにお越しいただき、有難うございました。

1823年英国ラグビー校でウェブ・エリス少年がフトボールの試合中にボールを手に持って走ったことがラグビーの発祥として知られていますが、そのラグビーが日本に伝わったのが1899年。

現在のルールの原型と言われるのが1845年に英国で初めて成文化されたルールブックと言われていますが、日本でもラグビーを普及していくために、ルーツ校の慶應が部員自身の手によって、英国のルールブックを翻訳し、各大学に広めていきました。

ラグビーのルールは今も完成することなく、改定されていますが、最古のルールブック(下記QRコード)をどうぞご覧ください。

ラグビーという素晴らしいスポーツが今後さらに発展していくためにも、今後も各校が切磋琢磨しながら、力を合わせて盛り上げていきましょう。我々も先人の努力と情熱を忘れずに精進を続けます。

今後ともどうぞ宜しくお願ひいたします。

慶應義塾體育會蹴球部 部長 牛場潤一

慶應義塾體育會蹴球部黒黃会 会長 川上純一

